記者会見資料
平成27年9月8日（火）
震災復興・企画部地域づくり推進課
（地域づくり推進係）
担当：神谷（内線336）

気仙沼大学ネットワーク活動報告会の開催について

■日　時　平成 27 年 9 月 18日（金）午後3時～午後5時
■会　場　気仙沼市役所ワン・テン庁舎2階　大ホール
■報告者

No.	所　　属	報告者名	報告概要
1	慶應義塾大学	教授 一ノ瀬　友博	現在も継続している舞根地区における高台移転支援と津波被災地の生物相モニタリングのほか、これまで実施してきたプロジェクトの紹介。
2	慶應義塾大学	教授 厳　網林	一般社団法人気仙沼市住み良さ創造機構の活動紹介
3	首都大学東京	准教授 市古　太郎	階上地区の2つの防災集団移転促進事業での「住まい再建勉強会」の取り組みを通して「生活再建に加えて，地域住民が集落再建デザインの主体になる」プロセスの報告。
4	早稲田大学	客員主任研究員 阿部　俊彦	内湾地区復興まちづくり協議会および八日町復興まちづくりの会におけるまちづくりや景観に関する検討支援の報告と、今後のまちづくり会社等による暮らしや観光などの地域マネジメントの方法の提案。
5	早稲田大学	教授 土方　正夫	階上地区まちづくり協議会におけるまちづくり計画策定経緯と市の震災遺構として保存する方針が打ち出された気仙沼向洋高校の利活用計画等について紹介。
6	NPO法人 神戸まちづくり研究所	理事長 野崎　隆一	鹿折地区土地区画整理事業地内のまちづくり事業及び唐桑町只越・鮪立地区の防災集団移転促進事業におけるこれまでの活動紹介。

■一般聴講　50 名（先着順）
■主　催　気仙沼大学ネットワーク（事務局：早稲田大学社会科学総合学術院　助手　藤原）
　　気仙沼市
■申込み先　聴講を希望する場合は 9 月 16 日（水）まで上記担当あてに連絡をお願いします。

【経過及び趣旨】
震災以降、本市内各地で多くの大学がまちづくり支援や防災集団移転促進事業団地の補助、環境調査、教育などの復興支援活動を行っており、そうした各大学の活動情報の共有を行い活動の重複を回避するとともに活動情報を発信するため、平成24年2月27日に「気仙沼大学ネットワーク」が発足しました。
発足当時の登録状況は大学・企業等 42 団体であり、大学間の情報共有を行うプラットフォームの場として機能するとともに、各大学が市内のどの地域で活動しているのか支援プロジェクトリストを作成し一覧化を図っています。
現在、気仙沼大学ネットワークには 69 団体が登録しており、これまで活動を総括するため活動報告会を開催されます。

関連する市震災復興計画重点事業
No.176「大学・研究機関等との連携と誘致」